【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成26年7月31日(2014.7.31)

【公開番号】特開2012-8126(P2012-8126A)
【公開日】平成24年1月12日(2012.1.12)
【年通号数】公開・登録公報2012-002
【出願番号】特願2011-131727(P2011-131727)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｒ　11/25　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｒ　11/25

【手続補正書】
【提出日】平成26年6月12日(2014.6.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
計測システムであって、
電源と電気的負荷との間に結合可能な計器バスを含む計器ベースと、
前記計器バス内の電力の電気的特性を決定するように構成された複数のセンサと、
プロセッサ（３１６）であって、
前記複数のセンサからの出力を受け取るステップと、
前記計測システムに関する収入パラメータを算出するステップと、
前記複数のセンサからの出力と、前記収入パラメータの算出結果と、該プロセッサで処理中の故障とを用いて、前記計測システムの動作に関連付けられた複数の起こり得る複数の故障のタイプの複数の故障を特定するステップと、
前記複数の故障のそれぞれの故障のタイプを判定するステップであって、各故障のタイプが深刻度レベルを含む、前記ステップと、
前記複数の故障の各故障のタイプの深刻度レベルを少なくとも用いて、前記計測システムの動作状態に対応する単一値を算出するステップと、
を行うようにプログラムされた少なくとも１つのコードセグメントを実行するように構成された、プロセッサ（３１６）と、
を備える計測システム。
【請求項２】
前記プロセッサ（３１６）が更に、前記少なくとも１つの故障と、前記計測システムの動作状態に対応する単一値との組合せを関連付けるステップを行うように構成された、請求項１に記載の計測システム。
【請求項３】
前記複数の起こり得る故障が、エラー深刻度グループ及び警告深刻度グループを含むグループに分類される、請求項１または２に記載の計測システム。
【請求項４】
前記エラー深刻度グループに含まれる、前記複数の起こり得る故障が、少なくとも、クリティカルエラーレベル及びクリティカルではないエラーレベルを含む、請求項３に記載の計測システム。
【請求項５】

前記警告深刻度グループに含まれる、前記複数の起こり得る故障が、少なくとも、高深刻度警告レベル、中深刻度警告レベル、及び低深刻度警告レベルを含む、請求項３に記載の計測システム。
【請求項６】
前記プロセッサ（３１６）が更に、各ビットが前記複数の起こり得る故障のうちの１つの故障に関連付けられている、レジスタ内のビットセットを用いて、前記少なくとも１つの故障のそれぞれの深刻度レベルを算出するステップを行うように構成された、請求項１乃至５のいずれかに記載の計測システム。
【請求項７】
前記少なくとも１つの故障は、少なくともエラー及び警告を含み、該エラーの深刻度レベルは、該警告の深刻度レベルよりも高い、請求項１乃至６のいずれかに記載の計測システム。
【請求項８】
前記プロセッサ（３１６）が更に、前記計測システムの動作状態に対する、エラーに関しての第１の寄与率値（Ｅｐ）と、前記計測システムの動作状態に対する、警告に関しての第２の寄与率値（Ｃｐ）と、を含む１つ又は複数の寄与要因を用いて、前記計測システムの動作状態に対応する単一値を算出するステップを行うように構成された、請求項１乃至７のいずれかに記載の計測システム。
【請求項９】
Ｅｐ及びＣｐが、消費電力記録が不正確になる故障、外部環境条件に起因して内部計測システム構成を変化させる故障、前記計測システムのハードウェア内の故障発生、又はファームウェアアプリケーションエラーのうちの少なくとも１つに基づいて選択される、請求項８に記載の計測システム。